

式 辞

第六十五回入学式の挙行に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、ただいま入学を許可された 135 名の皆さん、入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。

本来であれば、芽室町長さんはじめ PTA 会長さんや同窓会長さんからも、心温まるお祝いの言葉を頂戴するところではあります。新型コロナウイルスの感染対策により、式典自体、短縮して行わなくてはならないことから、大変申し訳ありませんでしたが省略させていただきました。

代わりにメッセージを頂戴しておりますので、ご覧になっていただければと思います。

さて、皆さんが今日の本校の入学式に出席していることは、普通のこと、あるいは当たり前のことでしょうか？

皆さんも報道等で知っているかと思いますが、去る 2 月 24 日ロシアが隣国のウクライナに侵攻して、多くの人々が命を奪われたり、住む場所を追われたりしました。

おそらくウクライナの人たちは、その前日まで、明日も平和な日々が続くものと思っていたに違いありません。

しかし、現実はそうではなかった。

皆さん、想像してみてください。皆さんと同じように高校生になろうとしていたウクライナの若者たちの姿を。

誰もこんなことになろうとは考えてもいなかったはずです。

つまり、世の中には、当たり前なことなど何一つないのです。

また、平和というものが、どこからか自然にやってくるものでもないのです。

それは、すべての国民が希求し、たゆまぬ努力を積み重ねていくことで初めて得られるものです。

あらためて今日の入学式に際して、平和の尊さについて考えていただきたいと思えます。

はじめから難しい話をしましたが、話題を変えましょう。

皆さんは、これから始まる高校生活にどんな夢や希望を抱いているでしょうか。

今は漠然としていても、どこかの時点でそれを具体的な目標に置き換えなければならぬ時がやってきます。

今日からスタートする高校生活ですが、3 年という時間は長いようで本当に短い。おそらく皆さん全員が、卒業する頃にはあっという間に過ぎたという実感を持つことでしょう。

ですから、日々1分、1秒を大切に過ごしていただきたい。

是非とも有意義な時間を送っていただきたい。

私たちは、心からそう願っていますし、できる限りのサポートをしたいと考えています。

でも、残念ながら、自分の時間を使うのは自分にしかできないのです。

後悔先に立たずという諺があります。

3年後、後悔するかしないかは、皆さん方の生き方次第です。

ただ、これだけは言っておきたい。

それは、失敗を恐れて、何もしない、そういう3年間だけは送ってくれるなということです。

皆さんには、是非、何とかに挑戦したという生き様を残して欲しいと思います。

ご列席の保護者の皆様、ご息のご入学誠におめでとうございます。

先ほど申し上げましたように、新型コロナウイルス感染対策のため、人数制限を行わざるを得なく、大変申し訳ございませんがご理解を賜りたいと存じます。

よく学校と家庭は車の両輪という言い方がなされます。

どんなに学校で厳しく生活指導を行ったとしても、家庭での指導方針と合致していなければ、子供には入っていきません。

ここ数年の傾向では、SNSがらみの問題行動が多く見られるようになってきております。

スマホは便利である反面、非常に危険な一面も持ち合わせております。

どうかご家庭におかれましても、スマホの使い方や規律ある生活習慣などについてご指導いただければと思います。

また、新型コロナウイルスについては、感染予防上、厳格な対応をしなければなりませんことから、生徒が感染した場合はもとより風邪症状が見られる場合でも登校は控えるようにしていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝と、新入生各位の今後の活躍を祈念申し上げ、第六十五回入学式の式辞といたします。

令和4年4月10日

白樺学園高等学校

校長 嶋野 幸也